

京大京女府大 新人運営オリエンテーリング大会 2013年2月9日 京都市左京区

毎年開かれている京大京女の新人運営大会。今年は京都府立大学の新生も入部したので、一緒に初めての大会運営を経験しました。

新人運営大会

京大京女の新人運営大会は、新人が大会運営のノウハウを身に着けるために、毎年開催されています。今年も、四回生の先輩にイベントアドバイザーについてもらい、いろいろと指導していただきました。

参加者は京大京女や阪大の先輩やOBを中心に、東は北関東から、西は九州からと広域から集まり、60人以上の方が参加していただきました。



トレインは雪の京都東山

トレインは、京大のお膝元、急斜面が特徴の「山紫水明 東山」。

京都市内は、前日夜から雪が降り積もり、トレイン内はすっかり雪景色に。怪我をする人が出ないように、公式掲示板やデフ配布所、スタート地区で、「雪が積もっているので無理はしないようにしてください」と呼びかけることとなりました。



[スタート地区の様子]

急斜面での雪なので、参加者からは「雪は冷たかったし、滑りやすくて大変だった」といった声が多く聞かれました。



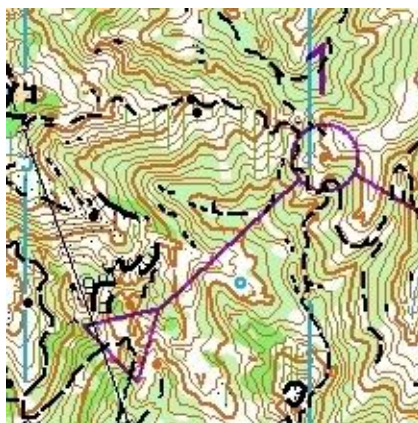
[給水所通過直後の参加者]

気を抜けないコース設定

コースプランナーはインカレロングMUF1一位の小野真嗣が務め、上位クラス(MA, WA, MAS)は随所に見られる微地形を多く使った、テクニカルなコースとなりました。多くの参加者から、どのレッグも気を抜けない面白いコースだったとの評価を頂けました。

スタート枠は、上位クラスは五山の送り火の「大」の字の下に設けましたが、B, N, Gでは「大」の字の上になりました。これはB, N, Gのコースの体力的要求を小さくするためです。

上位クラスではS→①からさっそく難しめのレッグで、ここでミスをした選手も多かったようです。



[いきなり厄介なMAのS→①]

また、MAの④→⑤も、ミスをして隣の尾根に乗ってしまったという人が多く見られました。②～⑥のショートレッグ、ミドルレッグが連続するあたり

が面白かったという声が多かったです。



MAは5秒差の接戦に

MAは一時間超えの中で5秒差の接戦となり、一ヶ月後に最後にインカレを控える京大四回生の寺田啓介選手が制しました。また、上位8人は、2位の奥村理也選手(ウルトラクラブ)以外は全員京大生と京大OBとなりました。練習会等で東山に入る回数が多いからだと考えられます。

一方、WAは参加者6人中唯一の完走で植松裕子選手(入間市OLC)が制しました。同コースのMASでも完走者が11人中7人となり、雪の影響があるとはいえ、少しハードすぎるコースだったようです。特にWAでは2泊まで辿り着いている選手だけでも6人中2人となってしまいました。序盤に難レッグがあると、そこで詰まってしまうレースを全く楽しめないことがあるので、最上位クラス以外では序盤には難レッグを設定しない方が良いのかもしれない。

MA

- 1 寺田 啓介 1:01:35 いんろう OLC
- 2 奥村 理也 1:01:40 ウルトラクラブ
- 3 松尾 遼 1:04:51 京大 OLC

WA

- 1 植松 裕子 1:47:34 入間市 OLC

MAS

- 1 羽鳥 和重 0:53:39 川口 OLC
- 2 市脇 翔平 1:01:30 紅萌会
- 3 村橋 和彦 1:32:40 K O L A

B

- 1 河原 節子 1:15:21

G

- 1 深川 優珠 0:35:58 朱雀 OK
- 2 中島 桜 0:45:32 もふもふず

(五百倉大輔)